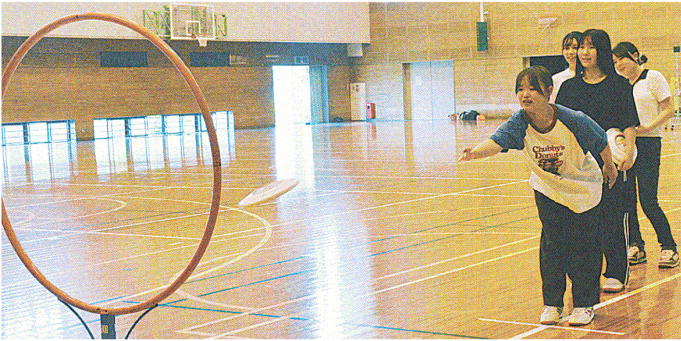


フライングディスクを体験しながら
ルールなどを学ぶ宮崎公立大生ら



競技の魅力 ツアーで発信へ

2027
宮崎国^{こく}スポ
障ス^{しょう}ポ

来年秋に本県で開催する「日本のひなた宮崎国スポ・障スポ」を盛り上げようと、宮崎市・宮崎公立大の学生が自主的に企画した親子向け体験ツアーの事前競技体験会が、同大学体育館であった。ツアー当日の運営を担う同大生約20人のうち8人が参加。障スポの正式競技・ボッチャとフライングディスクのルールや試合の進め方など競技を楽しみながら確認した。同大学4年の4人が中心となって企画。市とのミーティングを重ね、参加者に贈るオリジナルエコバッグを制作す

宮崎公立大生 親子向けに企画し準備

るなど、8月の開催に向けて準備している。

事前体験会は13日にあり、県障がい者スポーツ協会の専門指導員を招き、学生らは両競技を体験しながら、競技コートの作り方や審判方法を教わった。フライングディスクでは、「年齢や障害の有無に応じて投げる位置を調整して」とアドバイスを受けるなど、運営上の注意点も学んでいた。

同大学4年の戸田菜月さん(22)は「先生や市職員ら多くの人の協力がありここまでできた。子どもに楽しんでもらえるようにプランをさらに練りたい」と話していた。

(日高智明)